

35 . 利口な娘

ルソンのある王国の支配者に、僕として働いていた男がいました。彼にはマルセラという名前の娘がいて、彼女は美しさと、責任感と、利口さのために賞賛されていました。彼女に対するすべての問いに、マルセラは、即座に答えたのです。

ある日、王はマルセラがたいそう利口であることを聞いて、彼の信頼を置く僕たちをマルセラの家に遣わして、彼女にしてほしいことを言わせました。

彼女の家に着くと、僕たちの一人が言いました。「王は、この島から12種類の食事を作ることを望んでおられる。」

マルセラは布切れを縫っていましたが、しばらくそれを止めました。そして、考え始めました。彼女は針を取って、訪問者たちの前に、それを持って、言いました。「尊敬する王様に申し上げます。もし、この針から12本のスプーンが作れるなら、私にも、あの島から12種類の食事を作れるでしょう。」

王の僕たちは、宮殿に帰り、マルセラが彼らに行ったことを、主人に告げました。マルセラが与えた賢い答えを聞いて、王は微笑みました。そして、彼は別の計画を考えました。

次の日、王はまたマルセラに彼の僕たちを送りました。今回は、彼らは羊を一匹連れていました。

「王は、あなたにこの羊を売ってもらいたい。」と僕の長が言いました。「しかし、あなたは王に売り上げの金だけではなく、彼に羊も返さなければならぬ。」

なぞを解決するために、マルセラは羊の厚い羊毛を売りました。そして、お金と毛を刈られた羊を宮殿の王に送りました。

「マルセラは本当に賢い少女だ。」王はつぶやきました。しかし、彼はまだ確信しないで、その少女の利口さに、第三の試験をすることを考えていました。

次の朝、王は僕の長を呼んで、言いました。「マルセラの所に行きなさい。そして、彼女に私が病気で、王の病気を治す唯一の方法は、雄牛の乳を器に入れて、飲ませることだ。そして、彼女に、

もしそれができなければ、王は彼女の父親を追うの宮殿の僕から解雇するということも伝えなさい。」

僕の長は言われたとおりにしました。同時に王は、川で水浴びをすることも、そこで服を洗濯することも禁じました。なぜなら、王がその川を使おうとしていたからです。

その夜、マルセラと彼女の父は彼らの唯一の豚を屠りました。彼らは豚の血をマット、毛布、そして枕に広げました。次の朝マルセラはマット、毛布、そして枕を、王が水浴びしようとしている川の河口に置きました。

王は彼女を見て、叫びました。「どうしてお前はここでこれらのものを洗っているのか。私が使う今日一日、この川では誰も使うことを禁じられている命令を知らないのか？」

マルセラは頭を垂れて答えました。「王様、子どもを出産した者は、それに使ったものを洗うのは私たちの習慣です。私の父は昨夜赤ちゃんを産みましたので、そうすることは私の意志に反することですが、私は、あなたの命令に背くこと以外に方法がありませんでした。」

「バカな！」王は叫び声をあげました。「お前の父が子どもを産んだ？ それは不可能だ！」

「王様」マルセラは答えました。「もし男が子どもを産むことが不可能なら、同じように、雄牛が牛乳を出すのも不可能です。」

しばらくして、王はマルセラの手を取って、言いました。「マルセラ、お前はとても利口な少女だ。私はお前を私の息子の妻にする。」

1週間の内に、王の息子とマルセラは結婚しました。大きなお祝いがあり、そして彼らはずっと幸せに生活しました。

練習問題

新しい言葉の学び

「はい」か「いいえ」で答えなさい。

- 1 . 賞賛されている人は、好かれていますか？
- 2 . 怠惰で義務を果たさない人は、責任感がありますか？
- 3 . メニューというのは、食べ物アイデアです

フィリピン 神話と伝説
か？

- 4 . パズルは頭の飾りですか？
- 5 . 解雇は雇用の反対語ですか？
- 6 . 禁ずることは、避けることと同じですか？
- 7 . 不可能な仕事は、遂行するのが大変困難なことですか？

概略を作りなさい。

物語の概略を作りなさい。先ず中心の考えを
与えなさい。そして、その中心の考えの下の、
支える詳細を列挙しなさい。

明確化と発展の評価

- 1 . どうして、私たちには利口な人々が必要なの
でしょうか？
- 2 . マルセラは物語では「責任感がある」と評さ
れています。時々、私たちは、ある人を責任感の
ある高い感覚の人だといいます。次のそれぞれの
人々はどのように、責任ある人なのか、説明しな
さい。
 - a. 親
 - b. 関係者
 - c. 従業員と労働者
 - d. 教師
 - e. 学生